

機敏な動き、見事なホースさばき

市消防団ポンプ操法競技大会

第8回つくばみらい市消防団ポンプ操法競技大会が9月1日、総合運動公園多目的広場で開催されました。

当日、各分団の選手たちは、30℃を超える猛暑の中、これまでの訓練の成果を遺憾なく発揮し、機敏な動き、見事なホースさばきを大勢の観客の前で披露

しました。

このポンプ操法は、火災などの消火活動を行うための基本的な器具操作・動作です。大会に向け訓練は数カ月に及びます。訓練の時間は夜間が中心となりますが、休日などの早朝に行われる場合もあります。これは、消防団員が本業を持ちながら地

域の安全のため昼夜を問わず活動しているからです。大会に出場する選手、訓練を指導する指導員、選手をサポートする分団員が一つの目標に向かい、数カ月にわたり共に活動します。

大会で優秀な成績を収めることは大きな目標ですが、訓練を通して培った技術・精神、数カ月共に活動した絆は、つくばみらい市の防災を支える大きな力になります。

外国人消防団員が誕生

このほど、市消防団に米国籍のマクキム・ウォルターさんが入団（第11分団・小絹地区）し、外国人消防団員が誕生しました。

8月1日には、片庭市長、鈴木喜代志団長や消防関係者出席のもと、辞令交付式が行われました。交付式でマクキムさんは「どこまで役に立てるか分らないが、自分ができることがあれば協力したい」と意気込みを語ってくれました。片庭市長からは「仕事を持ちながらの活動

は大変だと思うが、外国人の方への通訳など大いに期待しています」と歓迎しました。



辞令を手にするマクキムさん（中央）と片庭市長（右）、鈴木団長（左）

個人の部

最優秀選手賞

古谷 剛（第10分団）

優秀選手賞

大山 英樹（第1分団）

水越 一斗（第2分団）

安楽 潤二郎（第3分団）

桑原 巨樹（第4分団）

飯塚 重夫（第5分団）

北泉 光晴（第6分団）

高田 武司（第7分団）

石島 幸治（第8分団）

坂野 稔浩（第9分団）

寺田 高明（第10分団）

北村 聡（第11分団）

【敬称略】

女性消防団員が防火PR

市では、女性ならではのきめ細かいソフトな面をいかした活動

動をするため、13人の女性消防団員が活躍しています。

8月3日に開催されたみらいフェスタでは、昨年に引き続き「もしも自分に火がついたら」をテーマに寸劇を披露しました。最後には、来場されていた子どもたちにも参加していただき、幼児への防火啓発活動を実施したところです。

市では、随時女性消防団員を募集しています。少しでも興味のある方は、安心安全課までお問い合わせください。



▽啓発活動の様子



優勝した第5分団の皆さん（後列）